

令和4年度 都道府県・政令指定都市 男女共同参画主管課長会議資料

女性消防団員の確保について

令和5年1月23日

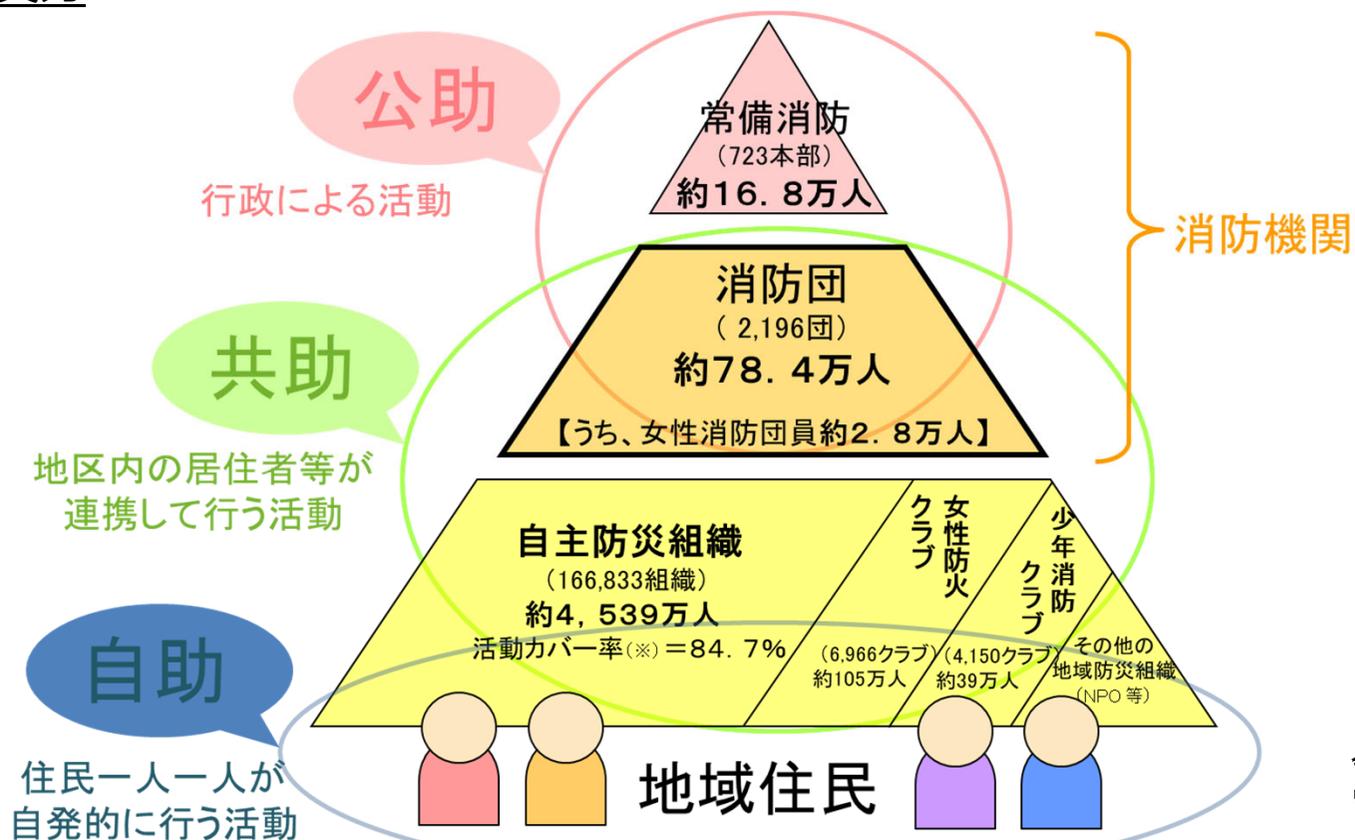
総務省消防庁 国民保護・防災部 地域防災室

消防団を中核とした地域防災力

1 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成25年12月法律第110号）

- 目的・理念等：消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図り、もって住民の安全の確保に資する
- 基本的施策
 - (1) 消防団の強化：消防団への加入促進（公務員の消防団員との兼職の認め・職務専念義務の免除）、消防団活動の充実強化施策（処遇・装備・教育訓練の改善等）
 - (2) 地域における防災体制の強化

2 地域の総合防災力



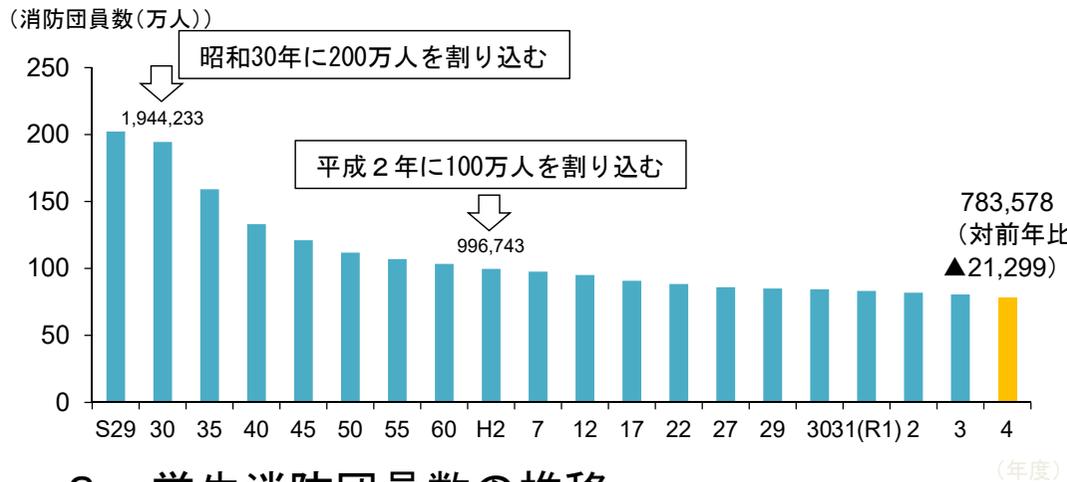
令和4年4月1日現在
(少年消防クラブは令和4年5月1日現在)

(※) 自主防災組織活動カバー率 = 自主防災組織が活動の範囲としている地域の世帯数 ÷ 全世帯数

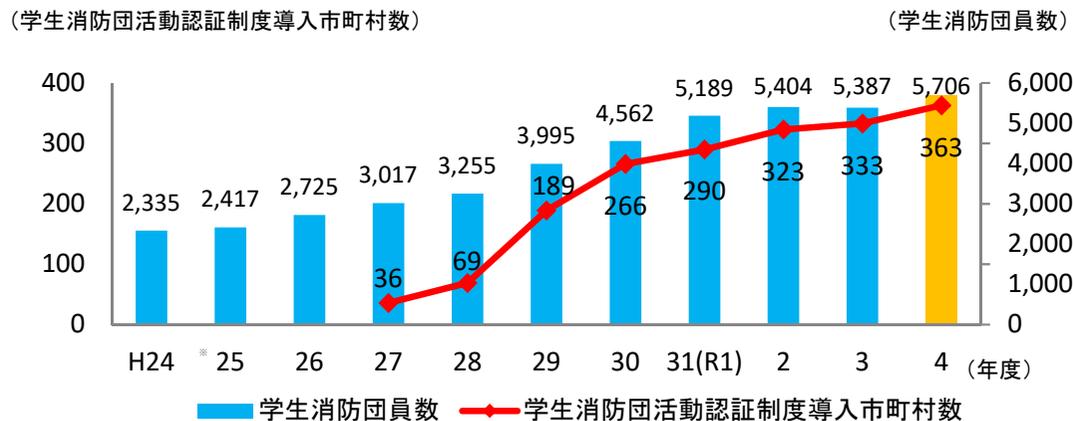
消防団の現状

- R4.4.1時点の消防団員数は783,578人 (▲21,299人 (▲2.6%)。入団者数：33,445人、退団者数：54,744人)
- 重点的に取り組んできた女性団員、学生団員および機能別団員については増加傾向。
 - ・ 女性団員 27,603人 (+286人 (+1.0%)) ※ 女性団員がいる消防団数は1,681団 (+13団)
 - ・ 学生団員 5,706人 (+319人 (+5.9%)) ※ 学生団員がいる消防団数は695団 (+27団)
 - ・ 機能別団員 32,118人 (+2,747人 (+9.4%)) ※ 機能別団員制度は665市町村で導入済 (+49市町村)

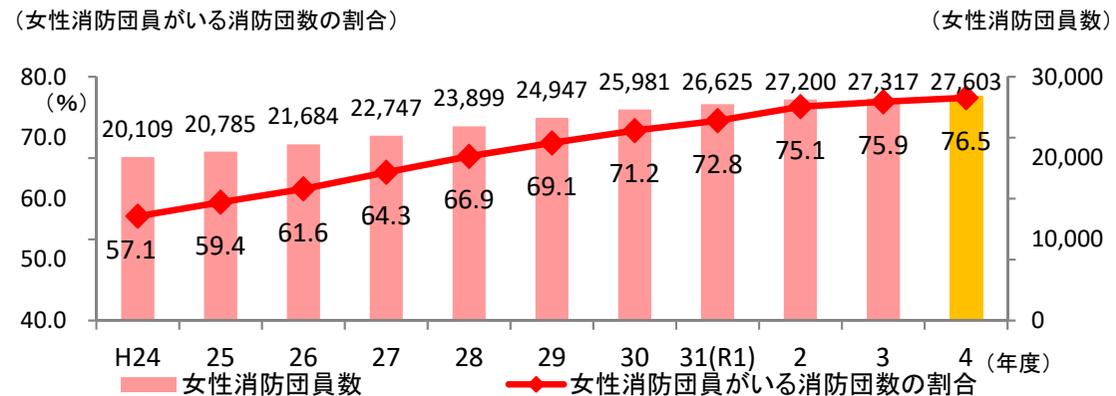
1 消防団員数の推移



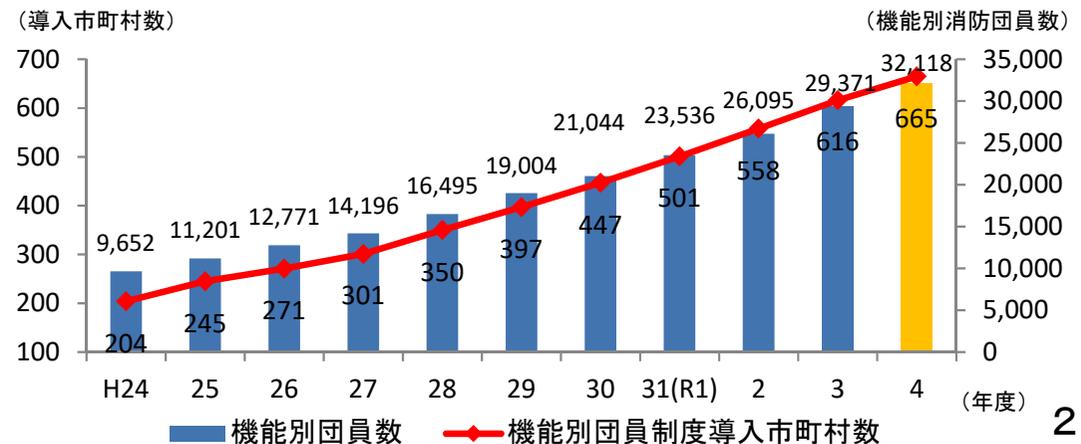
3 学生消防団員数の推移



2 女性消防団員数の推移



4 機能別消防団員数の推移



地域防災力の中核となる消防団の充実強化について（令和4年12月23日消防庁長官通知）（抜粋）

2 幅広い住民の入団促進

（2）女性の入団促進

総務省消防庁では、「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）において、消防団員に占める女性の割合について10%を目標としつつ、2026年度（令和8年度）末まで当面5%とする目標を掲げており、消防団員に占める女性の割合が、現時点で5%に満たない消防団においては早急に5%以上となるよう、また5%を超えている団体においては10%以上となるよう引き続き取り組んでいただきたいこと。

① 女性消防団員がいない消防団における取組

女性消防団員がいない消防団は、令和4年4月1日現在で515団となっている。上記目標も踏まえ、女性消防団員がいない消防団を所管する市町村においては、女性が消防団に入団しやすい環境の整備や、機能別団員・機能別分団制度の活用を検討し、今年度中に女性が入団するよう取り組んでいただきたいこと。

② 消防団員に占める女性消防団員の割合が5%を下回っている消防団における取組

消防団員に占める女性消防団員の割合が5%を下回っている消防団は令和4年4月1日現在で1,433団となっている。当該消防団を所管する市町村においては、女性の入団者が多い消防団や市町村の取組も参考に、更なる女性の入団促進に取り組んでいただきたいこと。

※なお、女性消防団員確保に関するアンケート調査の結果を、今月中に送付する予定であるので、取組の参考とされたい。

消防団への女性・若者等の加入促進（令和5年度予算案）

女性や若者等の消防団への加入を促進するため、①地方公共団体が企業・大学等と連携して行う取組等の支援、②女性や若者に人気の著名人を起用したポスター・リーフレットの掲示・配布及びYouTubeや電車内モニター広告の掲出等による全国的な広報活動、③全国女性消防団員活性化大会、④地域防災力充実強化大会を開催。

① 消防団の力向上モデル事業

3.5億円（令和4年度 2.5億円）

② 消防団加入促進広報の実施

1.4億円（令和4年度 0.7億円）

③ 全国女性消防団員活性化大会

0.1億円（令和4年度 0.1億円）

④ 地域防災力充実強化大会

0.3億円（令和4年度 0.3億円）



【消防団加入促進広報】
入団促進用ポスター



【消防団加入促進広報】
女性向けリーフレット

消防団の力向上モデル事業

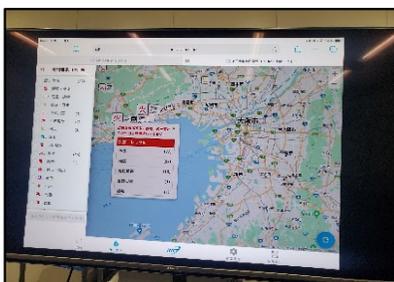
【施策の概要】【R5予算額 3.5億円】

- 社会環境の変化に対応した消防団運営等の普及・促進に向け、様々な分野の事業を支援し、地方公共団体の創意工夫に満ちた取組を促す。
- 各取組をモデル事業として、全国へ横展開を図る。
- **令和5年度は、事業の上限額を1事業当たり500万円（令和4年度は200万円）に増額することとしている。**

消防団の力向上モデル事業の例

全額国費(上限500万円)

○ 消防団DXの推進



消防団アプリの導入



車両動態表示装置の導入

○ 免許等取得環境の整備



準中型免許等の取得環境整備



ドローン操縦技能習得支援

○ 災害現場で役立つ訓練の普及



資機材取扱訓練



山火事想定訓練

○ 企業・大学等と連携した消防団加入促進



プロスポーツチームと連携した加入促進



大学祭での加入促進

○ 子供連れでも活動できる消防団の環境づくり



子連れ巡回活動



子供連れでの広報活動

【留意事項(助言内容、スケジュール等)】

- 今後の予定: 令和5年1月頃募集開始 ⇒ 令和5年3月末頃採択内示予定 ⇒ 令和6年2月末までに事業完了及び報告。
- ※ 各市町村・都道府県においては、消防団員のモチベーション、参画意欲の向上につながる新たな取組のため、積極的に活用されたい。

全国女性消防団員活性化大会の開催

○概要等

全国の女性消防団員が一堂に集い、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて連携を深めることにより、幅広い知識と視野を習得し、女性消防団員の活動をより一層活性化させ、地域防災力の強化に資することを目的とし、平成6年以降開催。

○主催

消防庁、(公財)日本消防協会、実行委員会(開催地消防協会、開催都道府県、開催市)

○後援

開催地市長会、開催地町村会等

○過去の実績等

| | | | |
|------|---------------------|--------------|-------------|
| 第21回 | 佐賀大会 (H27. 10. 29) | 開催地 : 佐賀県佐賀市 | 人数 : 3,003名 |
| 第22回 | 北海道大会 (H28. 6. 3) | 開催地 : 北海道札幌市 | 人数 : 3,357名 |
| 第23回 | 広島大会 (H29. 11. 16) | 開催地 : 広島県広島市 | 人数 : 3,317名 |
| 第24回 | 滋賀大会 (H30. 11. 9) | 開催地 : 滋賀県大津市 | 人数 : 3,655名 |
| 第25回 | 青森大会 (R1. 9. 19) | 開催地 : 青森県青森市 | 人数 : 2,647名 |
| 第26回 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止 | | |
| 第27回 | 徳島大会 (R4. 11. 22) | 開催地 : 徳島県徳島市 | 人数 : 1,500名 |
| 第28回 | 石川大会 (R5. 11. 予定) | | |



○内容

- ・ 活動事例発表
- ・ 記念講演
- ・ 火災予防啓発劇
- ・ パネルディスカッション 等



機能別団員・機能別分団について

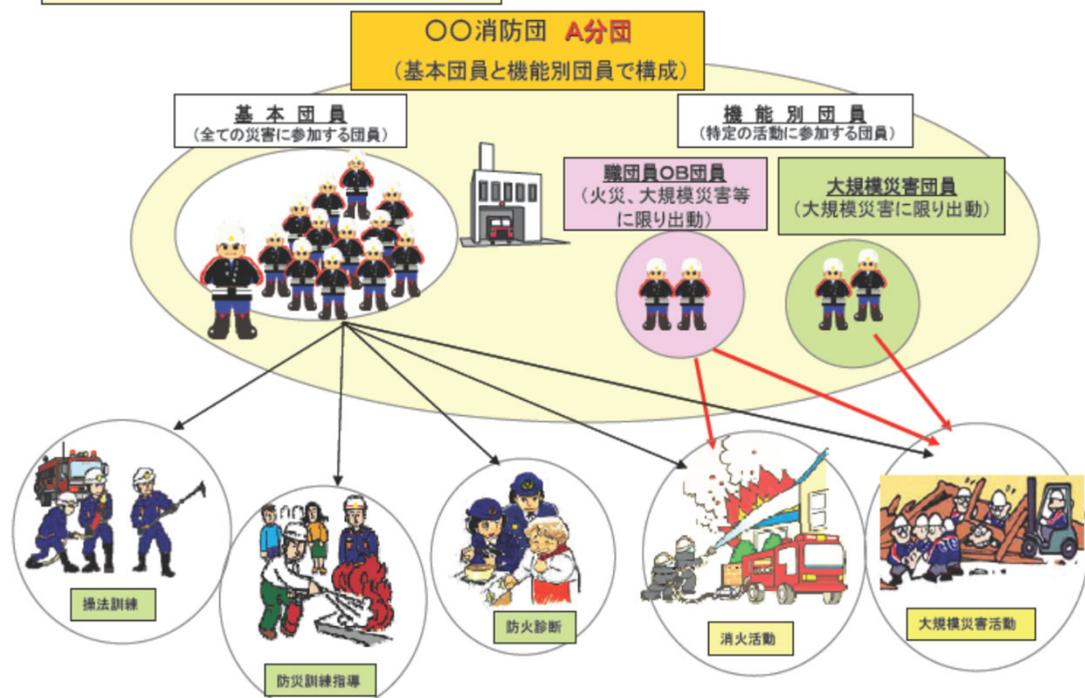
- 機能別団員・機能別分団は、消防団員がすべての災害活動に参加する基本的な消防団制度の補完的な制度として、各市町村が地域実態に応じて採用（R4.4.1現在 665市町村が導入済）。

<平成17年1月26日付け消防庁消防課長通知により、全国の市町村に制度導入を要請>

- 機能別団員（特定の活動、役割のみに参加する団員）
 - ・基本団員と同等の活動ができないなどの人が、入団時に決めた特定の活動・役割に参加する制度
 - ・消防職員・団員OB、被雇用者、**女性**等が担い手となることが今後も想定される

- 機能別分団（特定の活動、役割を実施する分団）
 - ・特定の役割、活動を実施する分団・部を設置し、所属団員は当該活動を実施する制度
 - ・機能別分団の例としては、大規模災害対応、火災予防対応などを目的とした分団や事業所単位の分団

機能別団員の活用事例



機能別分団の活用事例

